

大原社会問題研究所五十年史

Ⅴ 戦後

『日本労働年鑑』の覆刻始まる

研究所創立いらい戦中戦後の一時期をのぞいて、毎年編集刊行して来た年鑑は一九六七年で第三八集を刊行するにいたった。このころ、年鑑旧版の入手は非常に困難で、ことに戦前の各版は古本市場でも異常な高値を呼んだ。そこで研究者、一般読者の便をはかるため、まず戦前版年鑑を覆刻するため、法政大学出版局とその出版について話しを進めた。六七年、それが実現し、九月に第一巻(大正九年版)が刊行され、年度内に七冊が刊行された。

年鑑覆刻につづいて、研究所刊行物あるいは所蔵資料の整理がすすむにつれ、それらの覆刻計画が検討された(これは六八年度において、研究所創立五十周年事業の一部として具体的に立案され実現されていった。これについては後述)。なお前述のズースミルヒ『神の秩序』初版原本の覆刻版はこの年に刊行された。

一九六七年二月二一日、第一出版株式会社の永田周作氏が研究所に来訪、戦中戦後、研究所編集、高野岩三郎監修のもとに栗田書店より刊行された「統計学古典選集」全一三巻のうち、まず五巻を選んで覆刻刊行したいとの申入れがあった。その後所内で検討し訳者とも協議の結果、この申出を承諾することになり、その旨永田氏に伝えた。第一巻は翌六八年一月に刊行された*。

*第一次覆刻は次の通りである。第一巻グラント著、久留間鮫造訳『死亡表に関する自然的政治的諸観察』、第二巻ペッティー著、大内兵衛訳『政治算術』、第三巻ズースミルヒ著、高野岩三郎・森戸辰男訳『神の秩序』、第四巻マイヤ著、高野岩三郎訳『社会生活における合法則性』、第五巻エンゲル著、森戸辰男訳『ベルギー労働者家族の生活費』。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)